

## ガラス工芸 個性光る12点

刈谷 愛教大生、院生の作品展



個性が光るガラス作品と制作した学生ら。刈谷市総合文化センターで

愛知教育大(刈谷市)でガラス工芸を学ぶ学生らによる作品展「ガラスの姿展」が、市総合文化センターで二十九日まで開かれて十二点を出展した。

愛知教育大(刈谷市)でガラス工芸を学ぶ学生らによる作品展「ガラスの姿展」が、市総合文化センターで二十九日まで開かれて十二点を出展した。

全国の大学でも数少ないガラスの溶解炉がある作業場で、体感温度七〇度を超える中、溶かしたガラスに吹きさおなどを用いて命を吹き込んだ作品たち。異なる色のガラスを組み合わせたり、砂を吹き付ける「サンドブラスト」の技法で表面を削ったり、それぞれの個性が光る。

院二年の大木春菜さん(三)は「ガラスでこういう表情が出せるんだと感じてもらえたら」と話している。  
(土屋晴康)